ラバウル小唄

本調子

工	○	中	上	中	上	老	上	中	工	六	五
工	上	四	乙	合	○	乙	○	老	上	上	中
工	工	工	工	中	上	中	上	上	○	○	○
上	上	工	中	上	老	老	老	乙	合	乙	合
工	○	五	六	六	五	五	五	六	五	工	中
上	○	○	○	○	工	○	○	中	上	中	上
五	工	中	上	中	工	工	○	○	工	○	○
老	上	中	工	六	五	工	中	上	工	上	中

ラバウル小唄

本調子

一、さらば　ラバウルよ　また來るまで
は

しばし　別れの　涙がにじむ

戀し懐し　あの島　見れば

椰子の　葉かげに　十字星

二、船は　出てゆく　港の沖へ

いとし　あの娘の　打ちふるハン
カチ

声をしのんで　こころで泣いて

両手　合わせて　ありがとう

三、波の　しぶきで　眠れぬ夜は

語り　あかそよ　デッキの上で

星が　またたく　あの星　みれば

くわえ　煙草も　ほろにがい

四、赤い　夕陽が　波間に沈む

果ては　何處ぞ　水平線よ

今日も　はるばる　南洋航路

男　船乗り　かもめ鳥

五、さすが男と　あの娘は　言うた

燃ゆる　思いを　マストに　かか
げ

ゆれる　心は　憧れ　はるか

今日は　赤道　椰子の下